

皆さんと考える資源循環型社会へ 10月は「ダイアプラン」ごみ減量強化月間です

10月はリサイクル月間です。所沢市・飯能市・狭山市・入間市の4市(埼玉県西部地域まちづくり協議会)が連携し、「ダイアプラン」ごみ減量強化月間として、ごみ減量に関する事業を展開します。

今回は、市民の皆さんに、ごみの減量とリサイクルの推進を呼びかけますので、一緒に考えてみましょう。

※問い合わせ 廃棄物対策課(☎998-9146・FAX998-9394)



「プラスチック」の分別のようす(東部クリーンセンター)

「ゴミを出さない暮らし」の工夫

暮らしの中の小さな実践が、大きなごみ減量につながります。ごみを出さないためには、できることは何かを、皆さん一緒に考えてみましょう。

買い物をするときには…

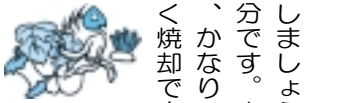
バーゲンセールで安いからといって、買ってはみたものの一度も使わなかったり、あとが気が付くと、 unnecessaryなものを買ってしまった経験はありませんか。また、過剰包装も中身を取り出すとすぐにごみになって、処理をするのに困ることがありますね。



- 買い物に出かけるときは、買い物袋やかごを持って行きましょう。持ち帰り用のレジ袋を使わないで済みます。
- 肉や魚、野菜などは、発泡スチロールやプラスチックの容器でパックされているものがほとんどです。それらは、中身を取り出すとすぐにごみになってしまいます。中身だけではなく、容器にも着目した買い方をしましょう。
- 使い捨て容器・製品の使用を見直しましょう。紙タオル・紙コップ・紙皿・紙おしぼり・紙オムツ等は非常に便利ですが、使用後捨てる「ごみ」になるのは考え

台所では…

毎日の食事をつくる台所からは、野菜くずや肉、魚などの生ごみのほかに、食品トレイやビニール袋、ラップ類やプラスチック容器等、毎日多くのごみが出ます。これらをもっと減らすことはできませんか。



- 生ごみを上手に処理しましょう。生ごみの約80%は水分です。水分をよく切ることで、かなりの減量になり、効率よく焼却できます。また、コンボスターや生ごみ処理機を使えば、ごみがなくなるように園芸用肥料ができます。
- 食事の作りすぎに気をつけましょう。また、残飯を出さない工夫も大切です。必要な食材は必要なだけ買い、使える食材は

もです。使用目的・場所等に合わせた使い方をしましょう。



リソで会計するとき、過剰包装と思つたら「袋や包装はいらぬ」と申し出ましょう。小物を買った場合は、シールやテープを貼り付けることも、ごみ減量につながります。

商品を選ぶときは、「すぐに必要なものか」「本当に必要なものか」を一度考えてから買うように心がけましょう。

ごみ減量講演会

とき 10月10日(金)午後6時～
ところ 飯能市市民会館・小ホール(飯能市飯能226-2)
テーマ ごみを減らす暮らし術
講師 ごみ問題ジャーナリスト・江尻京子さん
定員 当日先着300人(入場整理券が必要)
◎入場整理券は市役所5階・廃棄物対策課または飯能市・狭山市・入間市の各市役所などで配付しています。

何気なく捨てている『ごみ』は、自然環境や健康に影響を及ぼしています。これから何をすべきかを一緒に考えましょう。



問い合わせ 廃棄物対策課(☎998-9146・FAX998-9394)

市民フェスティバルで「ごみの減量」をPR

10月25日(土)・26日(日)、所沢航空記念公園で開催する所沢市民フェスティバルにおいて、「私たちができるごみ減量とは？」をテーマに、4市(埼玉県西部地域まちづくり協議会)合同でごみ減量をPRします。



▲市のリサイクルキャラクター「リック」

体験コーナー

- 簡単裂き織り講習会(25日(土)開催)
内容 裂いた古布などを利用した簡単な織物作り
 - 傘を利用したバッグ作り講習会(26日(日)開催)
内容 傘布を利用した小さくためるバッグの作り方
- 【共通事項】
とき 午前10時～11時30分、午後1時30分～3時
ところ 団体活動PRコーナー
定員 各講習ごとに当日先着10人

リサイクル品の販売

「もったいない市」で市民の皆さんから提供していただいた古着を販売します(1着100円の予定)。まだ着ることができるすてきな服をたくさん用意しています。

リサイクル品の配付

生ごみからできた「たい肥」、廃食用油からできた「せっけん」を無料で配付します。
◎多量用意しますが品切れの際はご容赦ください。
問い合わせ 廃棄物対策課(☎998-9146・FAX998-9394)

埼玉県西部地域まちづくり協議会とは…

所沢市、飯能市、狭山市、入間市の4市が連携して、地域の特性を生かしたまちづくりを進めるために昭和63年に設立しました。協議会では圏域の将来像を『未来にきらめく文化都市圏』とする「埼玉県西部地域まちづくり構想(ダイアプラン)」を策定し、共通の行政課題の検討や公共施設の相互利用、地域住民の一体感を高めるためのイベントの開催等、さまざまな取り組みを行っています。

室内では…

まだ十分使えるものでも不用とみなし、ごみにしてしまわないでください。捨てる前にもう一度利用することを考えてみましょう。紙ごみを燃やさずに資源にしましょう。雑誌・新聞・広告・包

とごん使うエコクッキングを実践してみよう。
容器を繰り返し使おう。
調味料などのガラス瓶、洗剤などのプラスチック容器は中身を詰め替えるごみになりません。ラップ・フィルムの使用を控えましょう。食品を冷凍・冷蔵するときや電子レンジで調理するときなどは、保存容器や電子レンジ専用のふたを利用しましょう。ふくごきは、手軽に使えるティッシュペーパーより、なるべくぞうきんを使いましょう。



● 古着は生まれ変わる事ができます。中古衣料として外国へ輸出されたり、毛糸や機械用のぞうきんになったりします。また着ることができず、趣味やサイズが合わなくなったものは不用品交換に出したり、バザーや

フリーマーケットに出したりして有効利用しましょう。
● 粗大ごみを見直しましょう。買い替えや引っ越しのときに出来る粗大ごみは、完全に使えなくなったものばかりではなさうです。まだ使えるものは不用品登録制度を利用して、必要としている人に譲れば喜ばれます。また、修理できるものは手をかけて修理しましょう。
● 歯磨き粉・ヘアスプレー・化粧品等の日用品は、最後まできれいに使い切りましょう。
● 市では、今後も、ごみの減量化・再資源化を図り、限りある資源を大切に作る循環型社会の構築に努めていきます。皆さんも、暮らしの中での工夫による「ごみの減量」にご協力ください。

市長インタビュー



資源循環型社会の構築には皆さんの「力」が必要です

● ごみの減量やリサイクルを進めるためには、どのようなことが必要とお考えですか。

齋藤市長 これまでの大量生産・大量消費の社会は、その結果として、地球の環境を汚染し、限られた資源やエネルギーを消費してきました。現在、環境・資源の制約に対応した循環型社会を作り上げることが急がれています。

国は循環型社会形成推進基本法を定め、各種リサイクル関連法を整備しつつ、制度の構築を進めています。その制度の担い手である市民一人ひとりによる、ごみの資源化やリサイクルに対する地道な取り組みが、実は一番効果を上げることができる方策であると思います。

当市でもごみの資源化を進めるために、皆さんには8種類の分別をお願いしていますが、これも、皆さんに正しく分別していただくことにより、より有効なリサイクルを行うことができるのです。

毎日の生活の中で「資源物を分別する」「すぐにごみとなるものは買わない」「ものを大切に使う」ことなどで、燃やしたり、埋め立てたりするごみを少なくできます。また、分別した資源物の中には有価物として売ることができるものもありますので、市の大切な財源にもなります。

市で助成している集団資源回収事業では、地域の皆さんの自立的な活動により、資源物のリサイクルが進むだけでなく、大人から子どもまで一つの目標に向け一緒に行動することで地域の和が保たれたり、子どもたちに資源に対する意識が自然に培われたりするという効果もあります。

資源循環型社会の構築には、市民一人ひとりの気持ちと、ちょっとした行動の積み重ねが必要と確信しております。

～パソコンのリサイクルにご協力を！～

貴重な重金属を多く含んでいるパソコンなどの電子機器を再資源化することで、資源の有効利用が図られ、同時に廃棄物削減の促進にもなります。

【パソコン(PC)のリサイクル】

平成15年10月1日から、家庭から出される不要になったパソコンを回収・リサイクルする「PCリサイクル」が開始されました。これは、消費者(ユーザー)とメーカーが協力し、使用済みパソコンを「資源」に生まれ変わらせるものです。
①回収・リサイクルの手続き

【ユーザー】
不要になったパソコンをメーカーに回収依頼

【メーカー】
ユーザーへ回収方法を案内・引き取り再生

②対象機器

個人で購入し、不要になったデスクトップパソコン・ノートパソコン・ディスプレイ(ブラウン管式または液晶式)

◎パソコンと一体で販売されたキーボード・マウス・ケーブル等の付属品は、パソコンと一緒に排出された場合に、一緒に回収します。

③リサイクル料金

■平成15年10月以降に販売されたパソコン…リサイクル費用は購入時に負担していただいていますので、排出時にはリサイクル料金はかかりません。

◎右記「PCリサイクルマーク」が貼られたパソコンに限りです。

■平成15年10月以前に販売されたパソコン…排出時にリサイクル料金を負担していただきます。

◎料金などの詳細は、パソコンメーカーなどへお問い合わせください。

問い合わせ 各メーカーのリサイクル受付窓口または社団法人電子情報技術産業協会・J E I T A(☎03-5282-7685)

●社団法人電子情報技術産業協会・J E I T Aのホームページアドレス
<http://www.pc3r.jp>

